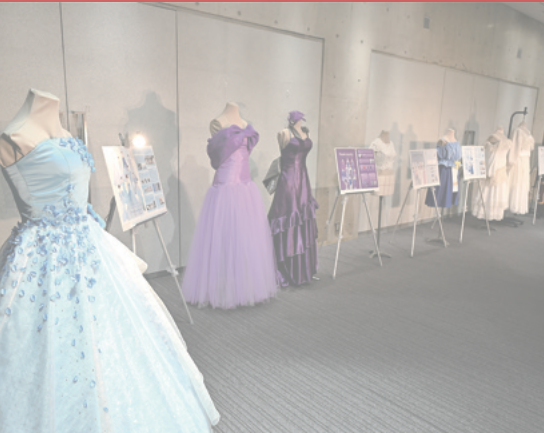
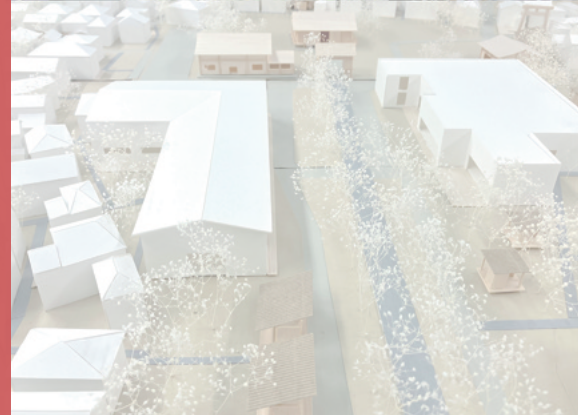


環境デザイン学部 環境デザイン学科

Department / Faculty of
Environmental Design and Science

生活科学研究科 生活環境学専攻

Major in Human Environmental Sciences
Graduate School of Human Life Sciences



CONTENTS

- 02 ごあいさつ
- 03 新しいカリキュラム
取得可能資格について
卒業後の進路について
- 04 カリキュラムの特徴
- 06 デザイン実践紹介

研究室情報

- 08 建築デザイン研究室
- 09 プロダクトデザイン研究室
- 10 ファッションデザイン研究室
- 11 コミュニティデザイン研究室
- 12 空間デザイン研究室
- 13 環境デザイン研究室
- 14 ファッションビジネス研究室
- 15 アパレル管理研究室
- 16 人間工学研究室
- 17 材料科学研究室
- 18 卒業生のメッセージ
- 19 助教・助手紹介

INFORMATION

各研究室については
ウェブサイト上に公開しています。

環境デザイン学科：
www.jissen.ac.jp/learning/hles/environment/

実践女子大学：
www.jissen.ac.jp

— 環境デザイン学部 環境デザイン学科 —



環境デザイン学部 学部長
橋 弘志 教授

本学科は、「デザイン」を幅広く、かつ深く学ぶことのできる新学部・新学科として誕生しました。自分らしい視点を力に変え、社会と向き合う学びが、ここから始まります。

形として目に見えるモノのデザインに留まらず、人の行動や体験、関係性といったコトのデザインまでを含む、多様なデザインスキルを学びます。そうした学びを通して、社会や環境に潜む課題に自ら気づき、自分の考えを形にして伝えられる力を育み、よりよい社会、より豊かな環境づくりに貢献できる人材を育成しています。

私たちの生活は、衣服や道具、家具やインテリア、住宅や施設、さらには都市やコミュニティといった環境によって支えられ、形づくられています。それらをデザインすることは、社会をより暮らしやすいものへと変えることであり、同時に、自分自身の生き方や価値観を問い直し、未来を描く行為でもあります。生活の質やウェルビーイングを高める上で、「環境デザイン」のスキルとマインドは、これからの社会においてますます重要な役割を担うものと私たちは考えています。

先行きの見えにくい現代社会においては、周囲に流されずに自ら考え、声を上げ、行動する力が求められています。社会の課題を自分事として捉え、解決へと導く力、そして、自らの人生を主体的に切り拓いていく力は、これからの社会を担うみなさんにとって不可欠なものです。当学科での学びはまさに、

学祖・下田歌子が校名に込めた女性の「自立自営」の精神を、現代に受け継ぐものです。

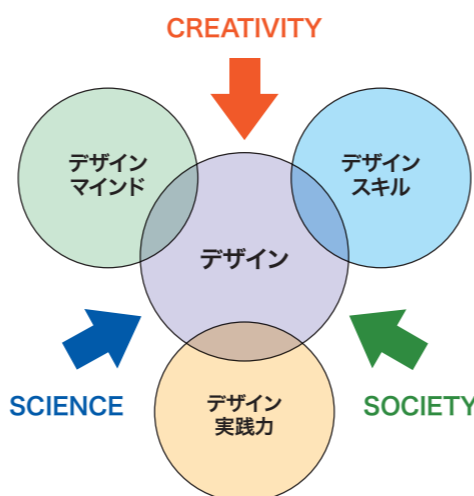
本学科では、自分の頭で学び、論理的に考えること、自分の手を使って新しい形を生み出すこと、そして、実社会に足を運び、多様な人々と協働しながら実践することを大切にしています。安心して挑戦できる環境のもとで、女性の視点と行動力を育む、本学科ならではのデザイン教育の特徴があります。

「デザイン」は、あなたの生き方そのものを形にする学びです。表層的な美しさや格好良さを指すものでも、一部の感性の優れた人たちのものでもありません。社会に存在する違和感や課題を見つめ、思考し、対話し、提案し、実践へとつなげていくプロセスそのものです。

社会を見つめ、自分の生き方を描く。「デザイン」の学びは、あなた自身の未来を形づくることから始まります。



環境デザイン学科 学科主任
大川 知子 教授



【デザインを学ぶ3つの軸】

● 環境デザイン学部 環境デザイン学科での学びについて

本学科では、「アパレル・ファッション」「プロダクト・インテリア」「建築・住環境デザイン」「総合デザイン」の4領域を、興味の広がりにも専門性の深まりにも応える、柔軟な学びのフィールドを用意しています。基礎から応用、そして、実践へと段階的にデザインスキルを身につけられるよう、講義科目と多様な演習科目を体系的に配置しています。

さらに、分野の枠を越えて課題の発見・解決に取り組む、社会連携型のプロジェクト科目も設けています。実社会とつながる学びを通して、より総合的で実践的な力を養います。これらの科目の多くは選択科目となっており、興味や関心、将来の進路に応じて、自由に柔軟な履修が可能です。複数の領域を横断して幅広く学ぶことも、ひとつの分野を深く追究することもできる、学生一人ひとりの成長に寄り添ったカリキュラムです。

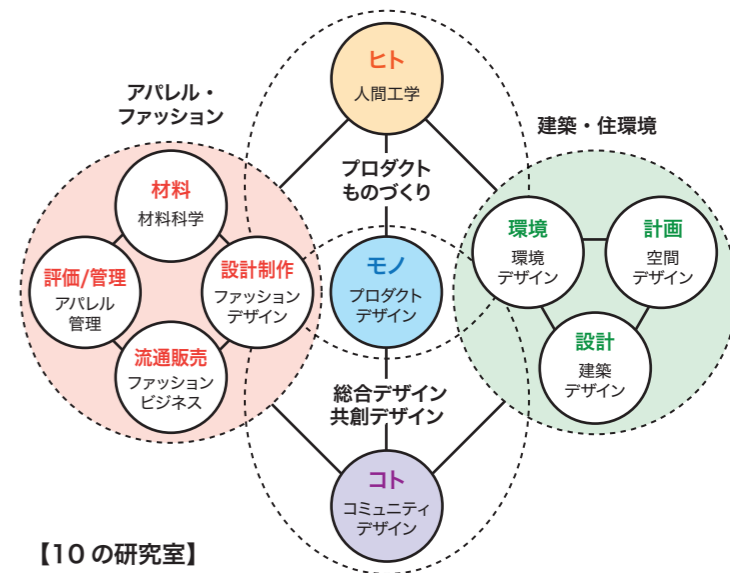
また本学科には、これらの学びの領域を網羅する10の研究室があり、それぞれの専門性を活かした特色ある教育・研究を行っています。3年次からはいずれかの研究室に所属し、教員のきめ細かな指導のもとで制作や研究に取り組みながら、探究力、実践力、そして他者と協働する力を育てていきます。

● 取得可能資格について

本学科では、専門的な能力を高め、卒業後に社会で活躍できるよう、資格取得の支援にも努めています。1級衣料管理士(TA)資格、一級建築士・二級建築士の受験資格、中学・高校家庭科教員免許状をはじめとする、多くの資格やスキルを取得することができます。

■取得可能資格一覧

卒業時に得られる資格類	1級衣料管理士(1級テキスタイルアドバイザー)教諭1種免許状(中学・高校 家庭科)司書教諭(要教諭免許状)
所定単位取得により得られる受験資格	一級建築士 二級建築士
所定単位取得と試験の合格により得られる資格	インテリアプランナー アソシエイト・インテリアプランナー(准インテリアプランナー)
在学中に受験して得られる資格類	色彩能力検定 カラーコーディネーター検定 繊維製品品質管理士(TES) ファッション販売能力検定 ファッションビジネス能力検定 パターンメイキング技術能力検定 商品装飾展示技能検定(VMD検定) 接客販売技能検定3級 商業施設士 インテリア設計士2級 インテリアコーディネーター 福祉住環境コーディネーター JIDAデザイン検定



【10の研究室】

● 卒業後の進路について

多くの卒業生が、それぞれの特性や専門性を活かした職業で活躍しています。ファッション、住宅、建築、インテリア分野に留まらず、家庭科教員も含めた幅広い分野でその力を発揮していることも本学科の特徴です。

また、大学院修士課程に進学し、より専門的な指導のもとで研究を深め、高度な研究能力や問題解決能力を身につける道も開かれています。

■主な就職先企業一覧(2023～2026年卒)

アパレル・繊維関連	青山商事株式会社、株式会社コナインテッドアローズ、株式会社バイクルーズグループホールディングス、株式会社アーバンリサーチ、株式会社アダストリア、株式会社ワールド、株式会社バル、株式会社ジーンズ、株式会社ジャノメ、株式会社白洋舎、一般財団法人カケンテストセンター
住宅・建築・設計	大和ハウス工業株式会社、戸田建設株式会社、株式会社長谷工コーポレーション、株式会社銭高組、世紀東急工業株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社一条工務店、パナソニックホームズ株式会社、三菱地所ホーム株式会社、トヨタホーム東京株式会社、大成建設ハウジング株式会社、大東建託株式会社、東建コーポレーション株式会社、株式会社IAO竹田設計、積水ハウスリフォーム株式会社
プロダクト・インテリア	キヤノン株式会社、株式会社LIXIL、株式会社乃村工藝社、高島屋スペースクリエイト株式会社、河津株式会社、タカラスタンダード株式会社、株式会社アダル、コトブキシーティング株式会社、株式会社ライオン事務器、株式会社フジヤ、株式会社Francfranc
金融・保険	日本生命保険相互会社、明治安田生命保険相互会社、イオンプロダクトファイナンス株式会社、昭和信用金庫、多摩信用金庫、大東京信用組合
教育・官公庁	警視庁、さいたま市役所、岐阜県教育委員会、長野県教育委員会、(学)東京理科大学
その他	株式会社星野リゾート、株式会社宝塚舞台、株式会社USEN、株式会社ローソン、西武鉄道株式会社、ホンダ開発株式会社、三菱商事パッケージング株式会社、株式会社千代田グラビヤ、株式会社菱友システムズ、株式会社ゼンショーホールディングス、株式会社ハーバー研究所
進学	実践女子大学院、東京理科大学院、千葉工業大学院

ファッションデザイン

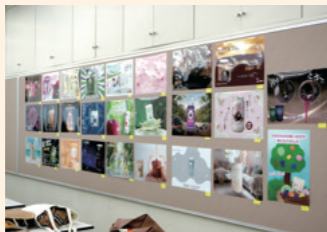
衣服やファッションアイテムのデザイン、品質評価、流通・販売など幅広く学ぶ



私たちの最も身近な環境である衣服のデザイン・製作に取り組みます。1級衣料管理士の資格取得に沿ったカリキュラムで、衣服の製作、素材の開発、品質管理、流通・販売まで、社会で求められるトータルな技術と知識を身に付けます。

情報・視覚デザイン

レイアウト、パッケージ、映像、WEBなど視覚的な情報発信のスキルを学ぶ



情報を整理し、編集し、発信するための情報デザイン、および、視覚的な手段で効果的に相手に伝えるためのスキルを磨くビジュアルデザインを学ぶカリキュラムです。ICT技術をデザインに活かすことは、どの分野を学ぶ上でも必要なスキルと言えます。

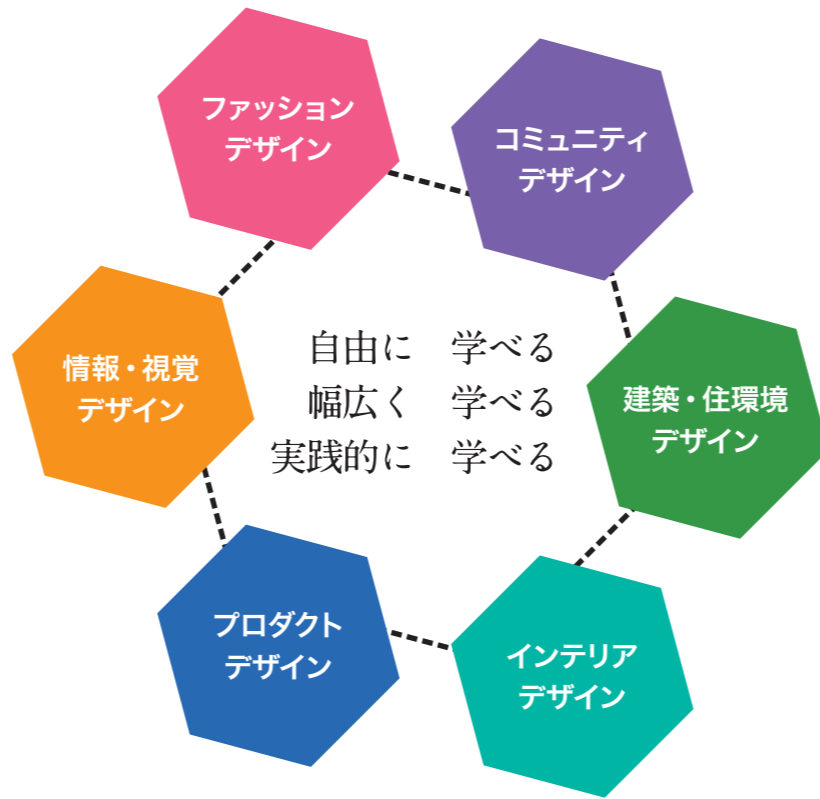
プロダクトデザイン

生活用品や家電製品、インテリア製品など、身の回りにある製品のデザインを学ぶ



私たちの生活を支えている様々な製品デザインに取り組みます。デザインの基礎から実際のものづくり、製品として完成させるマネジメントまで、体系的に学んでいきます。使う人のニーズや体験を重視した「人間中心設計」の考え方を身に付けます。

多様なデザインスキルと実践力を身に付けるカリキュラム



コミュニティデザイン

社会の現場で総合的に課題の解決に挑む多くの人と協働・共創するデザインを学ぶ

各分野で学んださまざまなデザインスキルを総合的に用いて、実際の社会的な課題に応用していきます。社会連携プロジェクトなどを通して、多くの人たちと一緒に問題を発見・分析し、協働して解決方法を提案する、総合的・実践的なスキルを身に付けます。



建築・住環境デザイン

住宅から公共的な施設まで、様々な規模・用途の建築デザインを学ぶ

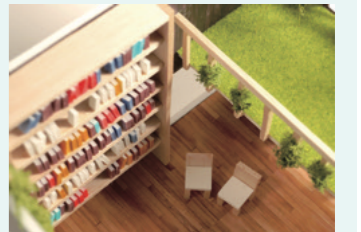
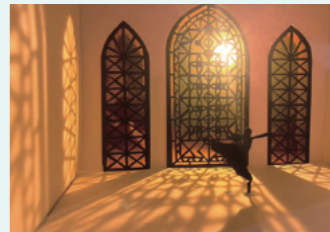
暮らしと社会を豊かにする建築・住環境を学びます。一級/二級建築士の受験資格取得に対応したカリキュラムで、設計製図、建築計画、環境工学、建築構造など、建築士に必要な知識・技術を網羅しています。毎年10人程度が建築士試験に合格しています。



インテリアデザイン

インテリアの様々な要素を組み合わせ、快適な室内空間づくりを学ぶ

インテリアのデザインは、建築的な空間の内部に、家具や道具、照明やファブリックなど、多様な要素で成り立っています。素材や色彩、光環境や音環境なども重要な要素です。快適で魅力的なインテリアの実現を目指して、総合的な知識と技術を学びます。



自由に選択して学ぶ

本学科のカリキュラムはコース制ではありません。どこかのタイミングで一つのコースを選択する必要はありませんし、3年次にどのゼミに所属しても、履修科目が制限されることはありません。必修科目は、各学年に1つずつの4科目のみ。それぞれのデザイン領域から、自分の興味に応じて自由に科目を選択し、自分に合ったカリキュラムを組み立てることが可能です。

はじめは幅広く学びながら、少しずつ自分の興味・関心を絞り込む「**レイトスペシャライゼーション**」に対応しています。

幅広く総合的に学ぶ

新カリキュラムでは、従来の「ファッションデザイン」「プロダクトデザイン」「建築・住環境デザイン」に加え、「コミュニティデザイン」「情報・視覚デザイン」「インテリアデザイン」など、デザイン演習科目を大幅に増強しました。

多様なデザインスキルを身に付けることは、目の前の問題に対してさまざまな角度から考え、多様な解決方法を組み合わせる**総合デザイン**の力を身に付けることに繋がります。ぜひデザインの引き出しを増やして、将来の可能性を広げていきましょう。

深く専門的に学ぶ

それぞれのデザイン分野では、初めての人でもしっかりとデザインのスキルとマインドを身に付けてもらうため、基礎から応用まで、体系的に学べるカリキュラムを組んでいます。授業体系に沿って一步一步学ぶことで、高度な専門性を修得することができます。

本学科のカリキュラムは「**一級・二級建築士受験資格**」「**1級衣料管理士資格**」などの資格取得に対応しています。教職(中学・高校家庭科)も取得可能です。またそれ以外にも、在学中の様々な資格取得をサポートしています。

実践的に学ぶ

分野を超えてさまざまなデザイン手法を駆使しながら、社会の課題に取り組むためのプロジェクト科目「**環境デザインプロジェクト a・b**」(2年次)および「**総合設計演習**」(4年次)を新設しました。複数の教員と協力しながらチームで取り組む**社会連携プロジェクト**を通して、協働力と実践力を磨いていきましょう。

環境デザイン学科には、各分野において地域連携/企業連携を進めてきた経験豊富な教員が多く揃っています。

デザイン実践紹介



卒業制作が学外展で次々に賞を獲得！

4年間の集大成として、卒業制作（建築）に挑戦する学生が年々増えています。その内容も急速に発展し続けており、「学生設計優秀作品展・レモン賞」や「卒業設計コンクール展・埼玉県知事賞（最優秀賞）& 準埼玉賞（次点）」、「JIA東京都卒業設計コンクール・藤本賞（都代表・全国大会出場）」、「せんだいデザインリーグ卒業設計日本一決定戦・100選+来場者投票3位」、「赤れんが卒業設計展100選」など、建築系学科を有する多くの大学から秀逸作品が集結した展覧会において、ここ数年で12の賞を次々と獲得しています。学外からも高い評価をいただいている学部に加え、修士設計制度が整った大学院教育など、ますます先進的な教育を充実させていくことを目指しています。



産学福連携アップサイクルファッション企画・販売

ファッションデザイン研究室では、アップサイクルファッションやエシカルファッションに産学福祉連携活動で取り組んでいます。材料には、繊維商社の瀧定名古屋(株)で毎年10トンも廃棄されてきた高品質でデザイン性の高いサンプル生地等の未利用布をはじめ、多摩地域や台東区、岐阜県などの複数の連携企業から廃棄処分される素材を調達。学生自らが商品を企画・デザイン、そして福祉施設「名古屋市身体障害者福祉連合会第一ワークス・第一デイサービス」の就労継続支援B型の利用者に縫製を依頼し、完成した商品はネット販売やイベントなどで学生による直接販売をしています。この活動と商品に対して、ソーシャルプロダクトアワード2025において、ソーシャルプロダクト賞を受賞しました。



セイコーウォッチと金吾堂製菓との社会連携

2025年度は、ゼミ活動の新たな取り組みとして、セイコーウォッチ株式会社と株式会社金吾堂製菓とのプロジェクトを実施しました。セイコーウォッチ様からは、「あなたが大好きなブランドの時計をデザインしたら」というテーマで、自分の好きなブランドとユーザーの分析からコンセプトを立案し、ブランドの持つデザイン要素を抽出して腕時計をデザインするという大変興味深いテーマをいただき実施しました。金吾堂製菓様からは「Z世代に刺さるお煎餅」というテーマをいただきました。お煎餅の風味や形状も含めて、パッケージをデザインするというプロジェクトで、袋の音や素材も含めた女子大生らしいアイデアがたくさん生まれました。



NPO法人Able Art Companyとの取り組み

「保護から自立へ」。障がいの有無に関わらず、人間が自立した生活を送るということは、どうということなのかを、課題を通して深く学びました。本プロジェクトは女子大学連携として、長年大妻女子大学と実施しています。今回は、Able Art Companyの方に障がい者を持った方たちに関する法律や実情について講義をしていただいた後、所属アーティストの方にお話を伺い、また、Dialogue in Silenceでの聴覚障害の疑似体験を踏まえた上で、学生達の実感を伴った提案を行いました。何れも直ぐにでも実現可能な内容でしたが、一方でマネタイズの難しさは課題として残りました。



地域の未来をデザインし実践する

新潟県十日町市田野倉集落を舞台に、関係人口の創出を目的としたコミュニティデザインの実践に取り組んでいます。本プロジェクトは総務省モデル事業「ふるさとみらいカレッジ」に採択され、環境デザイン学科一色ゼミと現代生活学科須賀ゼミが連携し、地域をフィールドとした学びのキャンパスづくりを進めています。一色ゼミでは古民家のセルフリノベーションによる宿泊・滞在拠点を整備し、須賀ゼミは空き店舗を活用したマルシェを企画・運営。その店舗設計を一色ゼミが担当するなど、分野を越えた協働を通して、地域とともに未来を描く総合デザイン的な実践をしています。



環境デザインプロジェクトa, b

2025年度からの環境デザイン学科の看板授業とも言える「環境デザインプロジェクトa, b」が始まりました。初年度は、日野駅商店会の協力を得て、学生と商店会のメンバーとで、「世界で一番面白い『商店会』をつくらう!」をテーマに、フィールドワークやグループワーク、ディスカッションなどを通じて、発見した問題の可視化、その解決を目指して、アイデアを成果物としてまとめました。初回は日野駅前東口広場でのオープン授業。最終回は市内3箇所から中継したプレゼンテーションを実施し、次年度以降は、初年度のアイデアをさらに進化させていく予定です。

本館 5F 535

建築デザイン研究室

Architectural Design Laboratory

E naito-masatoshi@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8900

研究室およびゼミの紹介

情熱とこだわりを持って、独創的なものを創造する研究室です。建築や都市のデザインとは、空間と共に行為を設計する学問です。固定概念にとらわれず、今のそして未来の施設利用者がわくわくするような、オリジナリティと社会性が共生する楽しい建築を創造しましょう。その実現に向けて、人の行動分析や地域社会、都市、現代建築、建築史の調査・研究に加え、自身が経営する設計事務所での住宅や商業施設、社会福祉施設、劇場、図書館などの多様な建築設計や工事監理の実践で積み重ねた経験を積極的にお伝えします。是非とも先進的な空間思想の構築にトライしてもらいたいと思っています。

3年生のゼミでは、以下の3つのことにチャレンジします。

- ①一人を取り組む、綿密なエスキスを伴う作業
極めて高度な建築設計など、私との十分なエスキスを通してブラッシュアップしていくクリエイティビティの高い取り組みへのチャレンジです。
- ②ペアを組んで取り組むフィールドワーク
建築の視察やプロダクトデザインなど、座学では学ぶことができないテーマに対して、ペアを組んで臨むチャレンジです。(ペアはランダム、毎回変更)
- ③全員で協働しながら取り組む大きな作業
「常磐祭・デザイン&セルフビルド計画」や「光の庭」など、みんなで団結してとにかく大きなことを計画して実践するチャレンジです。
その他、ゼミ合宿やイベントなど、楽しいことなら何でもやっちゃいます!



NAITO, Masatoshi
内藤 将俊 教授

1972年埼玉県生まれ。建築家／一級建築士。ニューヨークのコロンビア大学大学院を修了後、設計事務所での10年間の勤務を経て、自らの建築設計事務所を設立。劇場や図書館、社会福祉施設、クリニック等の公共性が高い建築から、店舗や個人住宅までの設計・監理を行う「なんでも屋」。未だに物理的な構造と空間の構成が一致した建物に出会うとドキドキします。

主な担当科目と概要

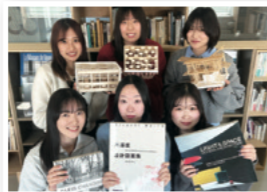
住環境デザイン論、建築・インテリア構法、生活空間設計製図1、建築デザイン論、構法・構造演習など。
<2023・24年度卒業研究>

テーマも含めて自主性を尊重します。(以下は卒業設計展受賞案) 来歴認承増殖都市～歴史が育んだ「凶々しさ」が成長させる三河島建築～、住人の迷いが導く重伝地区発展法～山・寺・奈良井宿・線路・川が紡ぐ集楽生活～、線状空間からの立体空間構成方法、都市型高層建築構成法、真仮想空間 等 (制作)



常磐祭「研究室リアルタイム改造計画」

大きな机で構成された「創作ゾーン」と掘りこたつの「団楽ゾーン」、教員用の「集中ゾーン」の3ゾーンで構成し、模型収納兼用天井ルーバーで包み込むことで、空間美と機能性が共生した迫力のある空間となりました!



2026年 大学院進学メンバー (全6名)

情熱とこだわりを持ち、建築からプロダクトまで多様な活動に励みます。個人設計や大学を改修する計画は達成感も満載でみんなの仲も深まります! 「夢を実現させるための通過点」を充実させたい方、ぜひ内藤ゼミへ!

本館 2F 228

プロダクトデザイン研究室

Product Design Laboratory

E anzai-toshinori@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8896

研究室およびゼミの紹介

世の中にあるモノやコトは全てデザインされています。研究領域は、その「モノ・コト」のデザイン。対象は、プロダクトデザイン、人間中心設計 (HCD: Human Centered Design, JIS Z8530:2021、以降HCD)、デザインマネジメント、デザインプロセス、産学連携プロジェクト 等になります。HCDの考え方に則りつつ、提案するモノ・コトの提供価値を最大化することを研究していきます。また、コトのデザインであるサービスデザインについての研究もしていきます。

4年生は「卒業研究」を中心に、就職活動をしながらか卒業制作に励みます。3年生は「生活環境学セミナー」を中心に、産学連携プロジェクトや各種イベント等のゼミ活動を行い、デザイン能力を高めていきます。

主な担当科目と概要

- プロダクトデザイン概論 (1年前期) : 私たちはデザインされたモノ・コトに包まれて生活しています。そのモノ・コトのデザインの生い立ちや、プロセス、海外の状況、拡張する領域等を、様々な事例を通して学んでいきます。
- 環境デザイン特論 a (1, 2年 夏季集中) : ユーザーも巻き込んでデザインするデザイン思考を、様々な手法を使ったチームワークによるワークショップを通して体験しながら学んでいきます (電気通信大学との単位互換科目)。
- プロダクトデザイン演習 a (2年後期) : 調査・分析、コンセプト立案、デザイン展開、モデル化等を通して、製品デザインの方法を習得します。モデルを作りポートフォリオにまとめ、インターンシップや就職活動等へ役立てます。



ANZAI, Toshinori
安齋 利典 教授

1957年福島県生まれ。大学3年の頃「福島からデザイナー志望者が出てきたか」と香川県出身の先生に言われました。千葉大大学院修了後、三菱電機でデザイン関連業務に従事。1999～2003年のフランス出向は良い経験と思い出でした。札幌市立大学を経て2023年度から現職です。新カリキュラムではプロダクト系の授業が膨大に増えて、嬉しくも苦しくもある昨今…。

■デザインマネジメント a (3年前期) : 自分が考えたデザインを実現するためには様々な障壁があります。その障壁を乗り越えるため、チームワークにより様々な手法を実際に使ってみてデザインをマネジメントする方法を体得します。
<2024年度卒業研究>

茶道でリラックス ～持ち運び可能な茶道具セットの提案～、木のおまごことキッチン、単色の色彩と形状がジェンダーフリーイメージに与える影響、ミッドセンチュリーモダンテーブル、日本の花から抽出するCMFのデザイン要素、小動物の飼い主向けサービス。



「Z世代に刺さる商品の提案!」

株式会社金吾堂製菓様の協力により「パッケージデザイン」を中心としたお煎餅の商品企画に取り組んでいます。シェア・静かに食べる・チョコ風味・スティック状、などのコンセプトやアイデアで展開中です。



2023年入学 長嶋 萌菜 井上 瑠々

安齋先生のゼミは、笑い声が絶えない楽しいゼミです。制作に悩んでいると、先生の一言で空気が一気に明るくなります。真剣に学びながらも、毎回「来てよかった」と思える時間を過ごしています。

光の庭 大勢の地域住民で賑わいました!



ゼミ合宿 3・4年生みんなで「いざ東北へ」



複合型高齢者福祉施設 さくらの花会館/設計監理:内藤将俊



ゼミ風景



夏のゼミ合宿



5月の国技館調査



本館 3F 323

ファッションデザイン研究室

Fashion Design Laboratory

E takizawa-ai@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8903

研究室およびゼミの紹介

私自身の専門は、誰しもが毎日着る「服」でありながら芸術品として扱われる服の最高峰、フランスのオートクチュール（高級注文服）のファッションと被服構成学です。これまでのゼミでは、主としてデザインと制作をしたい学生が集まり、ゼミ生自身が描いたデザインを基にオートクチュール作品の卒業制作とファッションショーの指導を行ってきました。デザイン画の表現法はもとより、デザインをする際に必要不可欠なリサーチやポートフォリオ作成法、トレンド分析等を実践的に取り組み、身に付けていきます。ファッションの表面的な華やかさとは裏腹にコツコツと地道に積み上げていく地味な作業が続きますが、その先に、最終的には裏付けのあるデザインやそのデザインに関して説得力のあるプレゼンテーションが出来るようになること、作品を観た人の心に響き、感動を与える表現力の修得を目標としています。

また、近年ではゼミ生達が一丸となって企画・デザインし、産学福祉連携で制作したアップサイクルのファッション商品を販売するなど、活動の幅も広がっています。今後も地場産業や企業・福祉施設との商品企画、販売などの活動は積極的に取り組んでいこうと考えています。

主な担当科目と概要

- ファッションデザイン論：ファッションの源流から今日に至るまでの歴史や、文化的・科学的視点からの理論について、実践を交えて学びます。
- アパレルデザイン基礎：衣服設計の基本となる人体の構造や運動機構、動作



TAKIZAWA, Ai
滝澤 愛 准教授

兵庫県芦屋市生まれ。日本女子大学家政学部被服学科卒業後、Ecole de la chambre syndicale de la couture parisienne (現IFM) に入学しDiplôme取得。卒業前よりEMANUEL UNGAROのオートクチュールのドレス部門で修業を始め、オートクチュールやプレタポルテのバリコレクションも経験。ウングロ氏引退を機に帰国。その後はデザイン活動やプロ・学生の指導にあたる。

に伴う変化や体型把握法、人体形態と衣服パターンの関係などを学習します。
■アパレル製作実習：自分の好きなデザインの上衣（ブラウス）と下衣（スカート）の制作実習を通して、衣服設計の基礎的な知識を理解し、技術を習得します。
<2025年度卒業研究>
学生自らテーマを決めてデザインした作品をオートクチュール技法で制作。テーマ例：Strata Rhythm - 地層からデザイン発想したオートクチュール作品 -



「ファッショントレンドとデザイン」

パリで年2回開催される世界最大規模の生地展示会 PREMIÈRE VISION PARIS では1年先の生地や色のトレンドなどが発表され、ファッション界に大きな影響を与えます。これらの情報を基にデザインを考えてみませんか。



2022年入学 矢島 沙也佳

自らデザインから制作まで一貫して行い、より高度で専門的な力を育てることが出来ます。また、産学福祉連携によるアップサイクルの商品企画・販売も行います。様々な経験を積み、自分だけの作品を残したい方は是非!

本館 4F 428

コミュニティデザイン研究室

Community Design Laboratory

E isshiki-hirotaka@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8899

研究室およびゼミの紹介

コミュニティデザイン研究室は、「身の回りの小さな社会を楽しく動かすこと」をテーマに、建築設計・まちづくり・ブランディング・事業企画・DIY・グラフィック・ワークショップなど、多岐にわたる分野のデザインを取り入れながら、共創・協働によるコミュニティデザインに取り組んでいます。そして様々なデザイン分野を横断するデザインディレクションや、協働・共創によるモノ・コトづくり、それらを総合的なデザイン視点で編集していくスキルと経験を身につけていきます。私の設計事務所を手掛けている「今進行中」のプロジェクトにも、チャンスがあればぜひ参加してもらいたいと思っていますし、建築設計やまちづくりの実務で得たリアルタイムな経験をゼミの中でも紹介し、社会との接点をできるだけ多くすることを大切にしています。そして、社会をより良い方向へと導くアプローチを、学年や年齢など関係なく、研究室一丸となって実践していきます。

研究室では、実際の社会(コミュニティ)をフィールドに、様々なデザインを介して「課題」や「可能性」を発見し、その場を少しアップデートできるような取り組みをおこなっていきます。身近な日野キャンパスをフィールドとした学生の居場所づくり(リサーチ+設計+製作)にはじまり、日野市内の街中でコミュニケーションの実証実験に取り組んだり、遠方では以前より交流のある新潟県十日町市の田野倉集落でのフィールドワークや地域の文化遺産、DIYによるモノづくりなど、さまざまな地域で活動しています。



ISSHIKI, Hirotaka
一色 ヒロタカ 准教授

1981年千葉県生まれ。建築家/一級建築士。千葉工業大学大学院工学研究科を修了後、山本理顕設計工場を経て、オンデザインへ参加。2015年に自身の建築設計事務所irodoriを設立し、「身の回りの小さな社会を楽しく動かすこと」をテーマに、住宅や施設の設計、まちづくりやブランディングなど、コミュニティデザインの視点で社会へアプローチを試みています。

主な担当科目と概要

ワークショップ演習やコミュニティデザイン論などの、コミュニティデザインにおける講義から、空間造形基礎や生活空間設計製図3などの、建築設計の軸となる講義、そして分野を横断する、環境デザインプロジェクトa・bを担当します。

<2025年度卒業研究>

小さな建築をDIY製作しての街中社会実験や、人の居場所を創造する建築設計等。



「リアルな社会でアクションする研究室」

都市部や地方など、出来るだけリアルな社会での活動を大切にしており、机上での設計やデザインとリアルな社会でのコミュニケーションを相互におこなう、体験と経験、そして感動を大切にした研究室を目指しています!



2023年入学 溝口 鈴奈

リノベーション、ワークショップなど大学外で活動することが多いです!ゼミがない日でも、ゼミ室でご飯を食べたり、課題をしたり、みんな仲良しです!みなさんとこの研究室で学べることを楽しみにしています!

卒業制作ファッションショー



アップサイクルファッション企画のNHK取材と撮影(左:実習室、右:NHKスタジオ)



アップサイクル商品販売(大丸東京百貨店)



キャンパスの広場を、デザインアップデート!



総合デザインプロジェクトが、グッドデザイン受賞



共創でつくる、建築設計の実務プロジェクトへ参加



本館 4F 425

空間デザイン研究室 Space Design Laboratory

E tachibana-hiroshi@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8904

研究室およびゼミの紹介

「ふだんの暮らしを豊かにするデザイン」について考えています。

「デザイン」とは、見た目の造形とか装飾だけでなく、そこに居る人、暮らす人、利用する人の生活の質を豊かにするために、環境を意図的に変化させること、だと考えています。部屋のインテリアからそれぞれの住宅、まちにある施設や外部空間に至るまで、いろんな空間のデザインが、人の暮らしにさまざまな影響を与えています。そのときおそらく、空間要素などの物理的な環境だけでなく、そこにいる他の人たちの様子や、その場の社会的ルールなど、社会的な環境も組み合わせあって、複合的に影響を与えているでしょう。

いろんな現場に赴いて、じっくり観察をしたり、人の話を聞いたりして、空間デザインのための知識やヒントを得たい、そしてそれを次のデザインに応用して新しい提案に結びつけたい、そんなことを目指して活動しています。

3年生のゼミでは、各種イベントに力を入れながら、その年ごとに活動や制作を行ったりしています。2025年度は、Corian 学内コンペにグループで取り組み、夏には3・4年生合同で金沢～福井への合宿を遂行、常磐祭では、合宿で実際に体験して印象的だった「石川県立図書館」「大野からくり記念館」「浅蔵五十吉美術館」「福井県立図書館」「福井県立恐竜博物館」の模型の作成・展示を行いました。手間と暇をかけながら、今まで自分でやっていなかったような活動にチャレンジすることで、自分の可能性を開いてもらえることを期待しています。

主な担当科目と概要

住居学／住居デザイン論／建築構造／福祉住環境論／生活空間設計製図2／実



TACHIBANA, Hiroshi
橋 弘志 教授

1965年1月生まれ。神奈川県横浜市出身。博士(工学)、一級建築士。所属：日本建築学会、日本インテリア学会、人間・環境学会、日本医療福祉建築協会など。いよいよ環境デザインの新学部が始動しましたが、個人的には渋谷と日野の往復が増え、目の前の課題遂行に追われ、徒に連日あたふたしていることが増えそうです。静謐な日々到来を心待ちにしています。

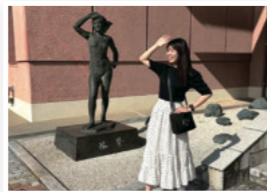
実践教養講座g(共通科目)(生活空間計画/建築法規/設計製図基礎)等
<2024年度卒業研究>

『無料塾』の運営実態と社会的役割」「地域における商店街の価値の変化と継承」「地域や人々とつながるパン屋の役割と可能性」「利用者や地域との関係性からみる駅前商業施設の研究」/「シネマシティ」「潜在的空間の蘇生」「日野スカイパーク」「社会復帰のために住む場所」(制作)



「常磐祭で感じた模型制作の楽しさ」

常磐祭では、合宿で訪れた金沢・福井の建物を模型で再現し、桜会賞をいただきました。約1か月の制作期間は忙しかったものの、常磐祭後の休み期間にみんなに会えなくなり寂しくなるほど濃い時間を過ごせました。



2023年入学 青柳 汐織

やるときは本気、楽しむときは全力で楽しむゼミです!ゼミ室は、学校に来るとつい足を運んでしまうほど居心地がいいです。優しく見守ってくれるお父さん(橋先生)のもと、充実した学校生活を送りませんか?

本館 4F 427

環境デザイン研究室 Environmental Design Laboratory

E maki-kiwamu@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8902

研究室およびゼミの紹介

<デザイン心理学>

建築でもプロダクトでも、デザインを始めると「これでいいのか!?!」と悩むこととなります。そこで、デザイン心理学。インタビュー、アンケート、行動観察、評定実験などの心理的・マーケティング的な手法を使って人間と環境の関わりを明らかにしていく。それが考えるヒントになっていく。

景観、インテリア、プロダクト、服。色彩、素材、模様、照明環境、そして人。様々な対象・要素に対して様々な視点から、日々探究しています。

<3年ゼミ>

2025前期は内藤ゼミ・橋ゼミと合同で人工大理石を用いた製品コンペを実施したほか、身の回りの気になることを調べて冊子にまとめて発表しました。後期は11月に常磐祭で「和の静と動」をテーマに光アート空間の展示、12月には「大人のクリスマス」を表現したイルミネーションを本館内のスペースで展開。一年中、何らかのプロジェクトで力を発揮しています。楽しんで、頑張る!

主な担当科目と概要

- 建築概論：古今東西の建築を眺めながら、建築を味わう視点を提供します。建築について考える面白さを見つけてください。
- 実践教養講座b：日本の文学、日本絵画、建築空間。3名の教員が講義して奈良・京都に研修旅行に出掛ける。そんな共通教育科目も担当しています。
- 色彩設計演習a：インテリア、街並みの色彩設計を行い、プレゼンテーション



MAKI, Kiwamu
槇 究 教授

1964年栃木県生まれ。一風変わった名前は、親父がつけた。一度は企業に勤めながらも、結局こういう職に就いてしまったことを考えると、名前のたたりは恐ろしい。

学会で訪れた場所では建物と美術館を訪れるのが楽しみ。それにおいしい食事が加われば言うことなし。そろそろ海外の建物も見に行く機会を作りたい。

ンする。自分の色彩計画に根拠を与えて、人を説得するプロセスを体験します。
<2022~2024年度卒業研究>

夜間街路における光・色デザインのコントロール、実践女子大学生の幸せの類型化、質感・素材のマッチング ~素材の調和論は成立するか~、伝統色名の国際比較、売り場から置き場へ ~生活に馴染むパッケージデザイン~、など



「クリスマスイルミネーション」

今までにないクリスマスのデザインに挑戦したいと思い、「大人のクリスマス」をテーマにしました!落ち着いた配色や高級感のある素材にこだわって、プレゼントボックスのツリーや、学生参加型ボードを制作しました。



2023年入学 林 希咲

好きなことを持ち寄って形にするゼミ!学生が主体となってアイデアを出し合い、楽しく活動中です。遊び心を大切に空間づくりに挑戦!笑いも真剣さもあるゼミで、大学の思い出をたくさんつくりませんか?



コーリアン® 学内コンペ



金沢から福井まで建築を巡る夏合宿



常磐祭「金・福 建築展」で実践桜会賞受賞



チームに分かれてデザインコンペに挑戦



ゼミ合宿(滋賀~京都) 聴竹居での暮らしを体感



クリスマスイルミネーション制作(左:日野/右:渋谷)

ファッションビジネス研究室 Fashion Business Laboratory

E okawa-tomoko@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8901

研究室およびゼミの紹介

本研究室で扱うファッションビジネスとは、単に「流行のモノを作る」ことではありません。生活者に、製品やサービスを通じて魅力ある提案を行ない、その対価を頂くという価値創造の連鎖が、このビジネスなのです。ファッションビジネスの特徴は「変化し続けること」。栄枯盛衰が激しい上に、捉えどころの無い難しさもはらんでいます。しかしながら、この領域がカバーする内容は、テキスタイル/アパレル/小売と多岐に渡り、時代や生活者の価値観の変化によってダイナミックな転換が起こる、そこがこの産業の奥深さと面白さです。

ゼミでは、学生自らが主体的に取り組むことを主眼に置き、企業との「産学プロジェクト」も行なっています。「卒業研究」では、現代社会の消費にまつわる様々な事象の背景を、文献調査は勿論のこと、市場調査やインタビュー等のフィールドワークを通して探り、それらの結果から今後の展望を論じることを目的としています。2年間の研究室活動を通じて、自ら行動する力、物事を多角的に捉える力を醸成します。「真剣に学んで真剣に遊ぶ」が研究室のモットー。毎年、学生のみなさんと新しいチャレンジを続けています。

主な担当科目と概要

- ファッションビジネスの世界：華やかさだけではなく、その裏側の複雑な産業構造や多種多様な企業が存在するファッションビジネスの外観を学びます。
- アパレル生産：テキスタイルの生産と調達に始まり、最終製品になるまでの量産の一連のプロセスについて、企業事例を含めながら学びます。



OKAWA, Tomoko
大川 知子 教授

長崎県生まれ。本学を卒業。ファッション産業界での仕事を、(一財)ファッション産業人材育成機構(IFI)にて16年間、将来のファッション・ビジネスにおけるスペシャリストの育成に従事。その傍ら、首都大学東京で博士号を取得。経営学博士。主な共著に英国より『Oxford Handbook of Luxury Business』、近著に『ファッションビジネスの基礎知識』がある。

■マーケティング論：日々変化する市場や多様化する現代生活者の動向も踏まえながら、基礎的な理論と現在の企業活動を多角的に学びます。

<2025年度卒業研究>

店頭における販売促進の変遷に関する研究：デジタル化の進展が購買体験に与える影響 / 「スポーツウェア」のファッション化の過程 / レディースブランドの商品戦略とプロモーション / リバイバルファッションの構造 / 郡内織物産地による地域活性化の展望 他計9本



「産学プロジェクト」

ハーブ・アロマを展開する『生活の木』と専門商社『豊島』二社と、大妻女子大学のみなさんと生産工程で発生する残渣を用いた生活雑貨案を立案し、実際にサンプル作成も行い、高い評価をいただきました。



2023年入学 高橋 未夢

他大学や企業との共同プロジェクトに加え、常磐祭では廃棄素材を活用した商品の制作・販売を行うなど、実践的な活動に取り組んでいます。企画から形にする経験を通して、日々学びを深めています！

アパレル管理研究室 Dyeing & Cleaning Science Laboratory

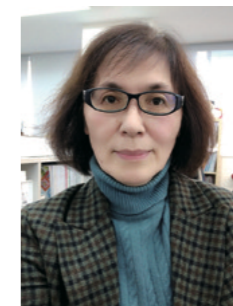
E shiobara-miyuki@jissen.ac.jp
T/F 042-585-8898

研究室およびゼミの紹介

アパレル管理研究室は、アパレル（衣服）の材料となるテキスタイル（織物、編物、革、不織布等）を適切に管理するにはどうするのか、家庭洗濯、ランドリー、ドライクリーニングなどを中心に、アパレル製品の品質評価に取り組みます。住環境の管理という側面から、洗浄を切り口に、生活周りの洗剤、人体周りの洗浄剤にも着目し、評価の対象にします。ゼミでは、パソコンでのデータ処理や発表スライド作成を通じて、卒業研究に必要な技術を養い磨きます。ゼミ合宿では、大学内では経験できない工場見学や染色体験、企業見学等を通して、視野を広げ、実際の学びに深みをつけ、自信をつけてもらいます。このようなゼミ活動を通して、学生生活の集大成である卒業研究を進める力と、社会性を養いたいと考えています。

主な担当科目と概要

- 染色加工学：染料の種類と特性、染色理論、染色加工技術を学び、実際に着用している衣服をより身近に感じてもらいます。
- テキスタイル管理学：衣類の基本的な手入れ、管理に関する領域の理論と実践を学びます。
- テキスタイル管理実験：テキスタイル管理学と染色加工学で学んだ知識を実践で確認するために、界面活性剤の働き、洗濯、染色に関する原理を学びます。1級衣料管理士（TA）に必要な実験技術と評価方法を習得します。
- 生活環境科学：二オイと環境、住環境と健康、大気汚染と健康、水資源、生



SHIOBARA, Miyuki
塩原 みゆき 教授

鹿児島生まれ。お茶の水女子大学家政学部卒・家政学修士、博士（学術）。被服整理、染色加工、化粧品科学、皮膚科学。ライオン油脂（現、ライオン株）で商品開発、エフシージー総合研究所で生活雑貨、家電、美容器具、化粧品等の商品テスト、検証に関わる。雑誌LDK、家電批評等の商品テストにも携わる。趣味は、和裁。茶道、手芸（刺繍、レース編み、編み物）が癒し。

活廃棄物など、衣環境、住環境を中心に、生活環境の現状について学び、快適な生活環境を保持するために必要なことを考えます。

<2025年度卒業研究>

「避難所での洗濯実態と少量の水での効率的な衣類コゴレの洗濯方法の検証」「天然染料「茜」と合成染料「アリザリン」を使った染色行動による癒し効果」「ミカンの皮での染色～染色pHと染色性能について」「蚕の飼育と生糸の染色」「『ぬい活』が活動に与える影響の検討～推し活の視点～」



「アップサイクル品の制作」

ファッションビジネス研究室と協働して、廃棄された毛糸や古いセーターを解いて、ヘアアクセサリーなどの小物作りや、古着や端切れでバックやポーチの制作。研究室独自でも廃棄ヒモでランプシェードを制作しました。



2023年入学 山内 友花 加藤 万尋

この研究室では、染色・洗浄・加工について研究しています。様々な染色方法を体験したり、キャンドル作りやランプシェード作りなどの実験を通して楽しく学ぶことができます。ぜひ塩原ゼミと一緒に楽しく学びましょう！



人間工学研究室

Ergonomics & Human Factors Laboratory

E satou-takeshi@jissen.ac.jp

T/F 042-585-8895

研究室およびゼミの紹介

生活の中にもみられるデザインには、道具（製品・システム・サービス）があげられます。人間工学は応用範囲が広いので、人間と環境デザインをユーザーの視点や管理者サイドの多方面から検討します。いろいろな考え方・状況の捉え方や評価方法を習得してデザインや社会環境における理論と実践を行うことを目指しています。さらに、より安全で健康に快適にするための条件を人間中心設計の視点から調査・研究します。ゼミ活動で行った調査・実験を学会発表やコンペの機会があります。

主な担当科目と概要

- くらしの人間工学：日常生活環境における人間工学的なモノの見方、考え方、応用されている事例紹介などをオンデマンドで講義します。
- 人間工学：応用・建築人間工学を中心に、2050年問題に向けて幅広く深く人間工学的側面について学修します。
- 人間工学実験：人間工学や応用心理学の実験やデータの分析能力を養う実験授業です。信号処理プログラミングや注視点分析と筋電図法に精通します。
- 人体生理学：私たちの体の生理現象、発育発達、老化、生理限界について理解をしていきます。
- 情報デザイン論：情報の視覚・聴覚・触覚などの表現について、目的に応じて情報を効果的に相手に伝えるデザインを学修します。
- ユニバーサルデザイン論：障がい者や機能の低下した高齢者のみならず多



SATO, Takeshi

佐藤 健 教授

愛媛県出身、早稲田大学卒、博士（工学）。日本人間工学会、日本生理学会、日本計測制御学会、ISEKなどに所属。ヒトのパフォーマンスの測定評価や筋電図・脳波を用いた動作解析を中心に、デザイン・学習・環境が人間に与える影響を研究しています。最近、前頭葉活動が出現する動作やノルディック・ウォーキング・調理動作に関する研究を行っています。

様性を持つ健常者の心身特性や生活実態を理解します。

■身体運動の科学 a,b：身体活動を中心にスポーツ栄養学入門と神経科学入門について説明します

<2022～2024年度卒業研究>

両腕協調運動による前頭葉活動の検証、電動キックボードの普及に向けた意識調査と課題、心電図解析による視覚刺激のストレス緩和効果、LEAF-Q-女性における低エネルギー利用率に関する調査、腸音の解析と腸活アプリの検証、バドミントントップアスリートの筋電図解析



「マルチモニターと畳のある研究室」

床は50mm あがったフリーアクセスで靴を脱いで上がります。一部は畳スペースでリラックスできます。マルチモニターとメモリー多めのデスクトップ PC を利用できます。人工気象室を利用した研究テーマを考えています。



2022年入学 國分 裕里

人間工学研究室では、実験・測定を行います。まだ普及していないARグラス・VRゴーグルの応用を考える前に、視力が重要です(笑)。学生時代の記念に研究発表、国際学会発表はどうですか!?

材料科学研究室

Materials Science Laboratory

E katogi-hideaki@jissen.ac.jp

T/F 042-585-8897

研究室およびゼミの紹介

近年、世界各国で環境に対応したモノの3R（リデュース、リユース、リサイクル）が推進されています。現在の衣服のリユース・リサイクルでは、古着やウェス、フェルトしてわずかに再利用されているだけです。そこで、古着から繊維を抽出し、樹脂と複合させた環境にやさしい環境調和型材料の創製に関する研究を行っています。また、室内の内装材料やインテリア用品の材料としても繊維が使われています。内装部材やインテリア用の繊維やテキスタイル材料の力学的特性や寿命評価に関する研究や国内外の学会での研究発表も行っています。

ゼミでは、リサイクル可能な繊維やテキスタイル材料の力学的特性や寿命評価、環境調和型材料の創製について学び、プレゼンテーション形式で研究成果を発表します。また、繊維およびテキスタイルの工場見学や学生研究発表会を行い、繊維やテキスタイル材料に関する知見を深めていきます。これらゼミ活動を通じ、「衣」、「モノ」、「住」分野での環境にやさしい繊維を用いた次世代の製品開発が可能なゼネラリストとして教育します。

主な担当科目と概要

- 繊維高分子材料学：「衣」・「モノ」・「住」分野で使用されている繊維高分子材料の種類（化学繊維や天然繊維）や力学的特性、耐薬品性等について学びます。
- テキスタイル材料学：衣服・インテリア製品に使用されている糸や布の種類や構造、各種特性について学びます。
- 繊維高分子材料実験：繊維高分子材料学で学んだことを基礎とし、繊維およ



KATOJI, Hideaki

加藤木 秀章 准教授

静岡県生まれ。2011年～2017年まで神奈川大学工学部機械工学科特別助手・特別助教として勤務。2018年から実践女子大学専任講師として勤務。同年10月から神奈川大学客員研究員としても活動開始。国内外の学会の委員会等に所属し、国内外の学会で盛んに発表している。また、2018年度では、国内のシンポジウムの開催や研究会を運営した。

び高分子の性質や評価方法など実験を通して学びます。

■テキスタイル材料実験：テキスタイル材料（繊維・糸・布）の特性を把握するために必要な実験や評価方法について学びます。

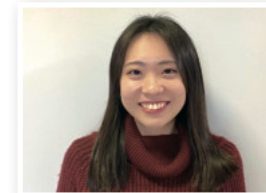
<2020～2024年度卒業研究>

「木材の機械的特性と複合材料への応用研究」「天然繊維を用いた布の静的引張特性および耐久性」「アップサイクル向けの複合材料の試作」「医療用布マスクの試作と快適性評価」



『自由×趣味×実験』したい人集まれ!

「研究って難しそう、分からない」そう思っている貴方、ウエルカムです！材料科学研究室では、主に材料を取り扱いますが、服に限らず幅広い分野に触れる為、情報関連についても知ることができます！



2020年入学 今井 万凜

材料科学研究室では個性豊かなメンバーと和気あいあいしながら活動しています！4年次の卒業研究に向けて繊維や材料に関する知識の理解を深めるためガラス繊維のヘルメットや複合素材のストラップを作りました。



皆さんとノルディックウォーク in 山梨



国際学会発表 in ブラジ



国際学会風景 in ストックホルム



シールド作り



ゼミ



体育祭

卒業生のメッセージ

卒業生たちは、色々なところで活躍しています。研究室での学びをベースにいきいきと働く先輩たちを紹介します。

幅広く学んだ先に見つけた仕事

桑井 菜那 (くめいなな)



私は現在、広告代理店に入社し、デザイナーとして働いています。大学時代はプロダクトや建築など幅広い分野を学びながら、独学でグラフィックを学んでいました。領域を問わず挑戦する姿勢や、目的から逆算して考える力、人の気持ちや行動を想像する視点は、今の仕事の土台になっています。広告等のビジュアルをデザインするだけ

でなく、制作会社と連携し意図を伝えながらディレクションを行い、多くの人と一つの広告を完成させる過程にやりがいを感じています。

一步踏み出す勇氣

宮本 早紀 (みやもと さき)



私は建築技師として政令指定都市で働いており、現在は市有建築物の新築・改修工事等の設計や工事監理を行っています。新築施設の設計業務に携われることや、自分が担当した物件が形になることに大きなやりがいを感じております。大学では教員になるか、建築の道に進

むかを選ばず、どちらもやってみようという教員免許の取得と建築の勉強を両立しました。多岐にわたる授業に加え、研究室でのイベントや卒業設計と目まぐるしく4年間が過ぎていく中、支えてくれた個性あふれるゼミの仲間達、何より公務員という道を勧め、最後まで私を信じてくれた研究室の先生のおかげで今の私があります。興味を持つことがあったら一步踏み出してほしいです。大変で辛いこともあるかもしれませんが、あの時やってよかったと思う日が来ると思います。

やってみる精神

松永 日陽里 (まつなが ひより)



現在は、不動産会社の事務として働いています。サポート業務をはじめ、物件やエリアに関する知識など学びの多い毎日です。大学時代は、コミュニケーションデザインという未知の分野に出会い、「とにかくやってみる！」精神で活動してきました。失敗を恐れず行動を起こすこと、周囲のサポートを積極的に活用する姿勢は、今の仕事にも活かしています。また、卒業制作を通じて自分の可能性を引き出すことができ、大きな自信にも繋がりました。沢山振り回しましたが、いつも背中を押してくれた教授や助手さん、喜びや困難を共に分かち合ったゼミ生がいたからこそ、充実した大学生活を送ることができたと感じています。

私は現在、株式会社ビームスで販売職として勤務しています。入社のきっかけは、大学で社員の方と共に行う授業を受け、その社風に強く惹かれたことでした。大学時代は、ゼミでの企業訪問や美術館巡りを通し感性を磨いたほか、1級衣料管理士やVMDの資格取得にも挑戦しました。卒業論文では、地域に根差したセレクトショップのオンライン運用を実践するなど、今の仕事に直結する経験を多く積むことができました。働いていると、「これは大学で学んだことだ」と点と線が繋がる瞬間が多々あり、当時の経験が今の私の土台になっています。皆さんも、ぜひ興味があることには積極的に顔を出して、今しかできないことを全力で楽しんでください。皆さんの学生生活が、爽りのある素敵な時間になるよう応援しています。

今しかできないことを全力で!

葛岡 七海 (くずおかななみ)



私は現在、株式会社ビームスで販売職として勤務しています。入社のきっかけは、大学で社員の方と共に行う授業を受け、その社風に強く惹かれたことでした。大学時代は、ゼミでの企業訪問や美術館巡りを通し感性を磨いたほか、1級衣料管理士やVMDの資格取得にも挑戦しました。卒業論文では、地域に根差したセレクトショップのオンライン運用を実践するなど、今の仕事に直結する経験を多く積むことができました。働いていると、「これは大学で学んだことだ」と点と線が繋がる瞬間が多々あり、当時の経験が今の私の土台になっています。皆さんも、ぜひ興味があることには積極的に顔を出して、今しかできないことを全力で楽しんでください。皆さんの学生生活が、爽りのある素敵な時間になるよう応援しています。

助教・助手紹介

私たち、助教・助手が学生と教員の間で立って、学生生活をサポートします。

助教・助手は大学の先輩にあたる人が多く、学生にとって身近な存在です。

実習・演習を中心とした授業でわからないことや、どんな科目を履修したら良いか等の相談を受けたり、ゼミ活動や卒業研究のアドバイスをしたりと、学生と日常的にふれ合いながら卒業までの4年間を支えています。

学生には、いろんなことに挑戦し、たくさん学び、より多くのことを吸収してほしいと思います。

そして、この実践女子大学でみなさんが、素敵な「実践(できる)女性」となり、未来へ羽ばたいていくことを願っています。



鎌田 結愛
(かまだ ゆうあ)
建築デザイン
研究室

梶 善美
(かじ よしみ)
プロダクトデザイン
研究室

戸嶋 由美
(とじま ゆみ)
ファッションデザイン
研究室

溝淵 怜
(みぞぶち れい)
コミュニティデザイン
研究室

安原 亜美
(やすはら あみ)
空間デザイン
研究室

原島 美宇
(はらしま みう)
環境デザイン
研究室

本田 春香
(ほんだ はるか)
ファッションビジネス
研究室

小川ゆか
(おがわ ゆか)
アパレル管理
研究室

未定
材料科学
研究室



実践女子大学

Jissen Women's Educational Institute (JWEI)

日野キャンパス

〒191-8510 東京都日野市大坂上 4-1-1
TEL 042-585-8817 (代)

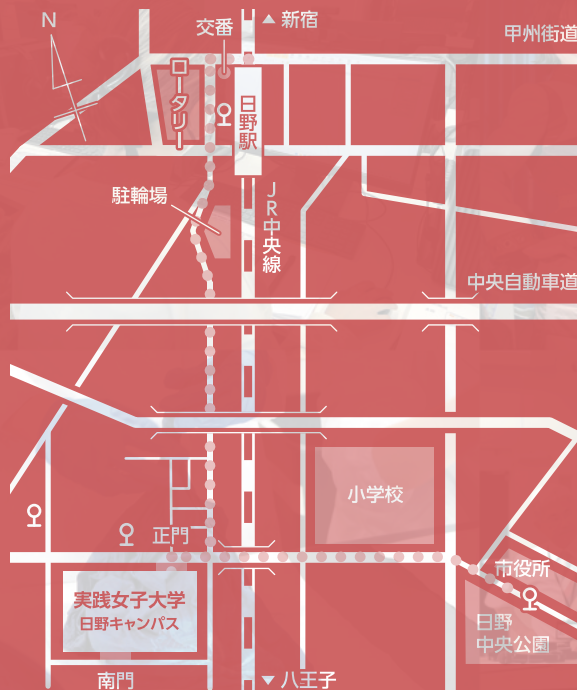
入試に関するお問い合わせ 大学入試センター
TEL 042-585-8820 (直通)

環境デザイン学科ウェブサイト

www.jissen.ac.jp/learning/hles/environment/

実践女子大学ウェブサイト

www.jissen.ac.jp/



アクセス

【徒歩】
日野駅から 約 12 分

【バス】
日野駅から
日野駅発日野市ミニバス
「豊田駅北口行」約 2 分

【電車】

- ・中央線【新宿駅→日野駅】
快速約 45 分 / 特別快速約 30 分
- ・埼京線【大宮駅→日野駅】
約 1 時間
- ・南武線【川崎駅→日野駅】
約 1 時間
- ・横浜線【横浜駅→日野駅】
約 1 時間 10 分
- ・京王線【新宿駅→高幡不動駅】
約 40 分 / 特急・準特急約 30 分



DIC 2496

